

Nikon

BR-2・BR-5リング

このたびは、ニコンBR-2リング・BR-5リングをお買い上げいただきありがとうございます。

BR-2リングはレンズを直接、またはペローズアタッチメント、中間リングなどを介してボディに逆向きに装着して使用するためのアダプターリングです。カメラボディへの取付けは3つの黒点指標のうちの、適当な1つを選んで行います。また、BR-5リングは、アタッチメントサイズ62mmのレンズ(20mm F2.8、35-70mm F3.5)を逆向きにして使用するためのアダプターリングです。BR-5を装着するとアタッチメントサイズが52mmとなりBR-2等を併用してボディに逆向きにして使用することができます。但し、52mmフィルターを装着して使用することはできません。一般に等倍以上の拡大撮影においては、レンズを逆向きに使用しますと、描写性能及びワーキングディスタンスの確保の点で有利に撮影が行えます。

BR-2リングはアタッチメントサイズ52mmのレンズに使用できますが、ボディに直接取り付ける場合の使用レンズは、焦点距離20mmから58mmまでの各レンズ及び主に広角標準系ズームレンズとなります。

- 測光は絞り込み測光となります。絞り込み測光の方法につきましては、各カメラの使用説明書をご参照ください。
- ダブルケーブルリリースAR-7、またはAR-4とBR-4を併用しますと、レンズの自動絞りが活用できますので、スピーディに撮影を行うことができます。
- ペローズアタッチメントPB-6は、BR-2リングを使用することなしに、レンズを逆向きに取り付けるとができる特長がありますが、BR-2を併用することにより、さらに倍率を上げることが可能です。
- ボディに直接レンズを逆向きに取り付けた場合、
 - 1)ズームレンズを除いてピントの合う位置は一定になります。ヘリコイドによるピント合わせは行えませんので、カメラまたは被写体を前後に動かしてピントを合わせてください。なおこの時、フォーカシングユニットPG-2を併用すると便利です。
 - 2)撮影倍率はズームレンズを除き一定になります。各レンズにより得られる倍率は下表をご参照ください。

BR-2によりボディに直接レンズを逆向きに取り付けた場合の撮影倍率(レンズ∞セット時)

レンズ名	撮影倍率	レンズ名	撮影倍率
㊦ ニッコール20mm F3.5S	2.9×	㊦ マイクロニッコール55mm F2.8S	1/1.1×
㊦ ニッコール24mm F2S	2.6×	㊦ ノクトニッコール58mm F1.2S	1/1.2×
㊦ ニッコール24mm F2.8S	2.5×	㊦ ズームニッコール28-50mm F3.5S	2.3~1/1.1×
㊦ ニッコール28mm F2S	2.2×	㊦ ズームニッコール35-105mm F3.5-4.5S	1/1.8~1/6×
㊦ ニッコール28mm F2.8S	2.1×	ニコンレンズシリーズE35mm F2.5	1.3×
㊦ ニッコール28mm F3.5S	2.1×	ニコンレンズシリーズEズーム 36-72mm F3.5	1.8×1/1.8×
㊦ ニッコール35mm F1.4S	1.8×	ニコンレンズシリーズEズーム 75-150mm F3.5	1/1.7~1/∞×
㊦ ニッコール35mm F2S	1.6×	※㊦ ニッコール20mm F2.8S	3.4×
㊦ ニッコール35mm F2.8S	1.5×	※㊦ ズームニッコール35-70mm F3.5S	2.1~1/2.2×
PCニッコール35mm F2.8	1.6×	※印BR-5を併用	
㊦ ニッコール50mm F1.2S	1.1×		
㊦ ニッコール50mm F1.4S	1/1.1×		
㊦ ニッコール50mm F1.8S	1/2×		

BR-2A・BR-5リング

このたびは、ニコンBR-2Aリング・BR-5リングをお買い上げいただきありがとうございます。

BR-2Aリングはレンズを直接、またはベローズアタッチメント、中間リングなどを介してボディに逆向きに装着して使用するためのアダプターリングです。カメラボディへの取付けは3つの黒点指標のうちの、適当な1つを選んで行います。また、BR-5リングは、アタッチメントサイズ62mmのレンズ（AFニッコール20mm・F2.8S、AFズームニッコール28-85mm・F3.5-4.5S等）を逆向きにして使用するためのアダプターリングです。BR-5を装着するとアタッチメントサイズが52mmとなりBR-2A等を併用してボディに逆向きにして使用することができます。但し、52mmフィルターを装着して使用することはできません。一般に等倍以上の拡大撮影においては、レンズを逆向きに使用しますと、描写性能及びワーキングディスタンスの確保の点で有利に撮影が行えます。BR-2Aリングはアタッチメントサイズ52mmのレンズに使用できますが、ボディに直接取り付けられる場合の使用レンズは、焦点距離20mmから58mmまでの各レンズ及び主に広角標準系ズームレンズとなります。

- 測光は絞り込み測光となります。絞り込み測光の方法につきましては、各カメラの使用説明書をご参照ください。
- F4シリーズカメラとBR-2Aを組み合わせる使用の際、露出補正は使用するファインダーによって異なります。下記の通り補正してください。
 - 1) DP-20ファインダーを装着して中央部重点測光使用時の補正は、使用するレンズの絞り値によって異なります。
 - F5.6未満の時：補正はいりません。
 - F5.6以上の時：-1段補正してください。
 - 2) DA-20ファインダーを装着して、中央部重点測光使用の場合、補正はいりません。
 - 3) DP-20、DA-20ファインダーとも、スポット測光と組み合わせる使用の際は、+1段補正してください。
- F-401Sカメラとの組み合わせでは、カメラの露出計は使用できません。（表示も出ません。）
- ダブルケーブルリリースAR-7またはAR-4と、BR-4またはBR-6を併用しますと、レンズの自動絞りが活用できますので、スピーディに撮影を行うことができます。
- ベローズアタッチメントPB-6は、BR-2Aリングを使用することなしに、レンズを逆向きに取り付けることができる特長がありますが、BR-2Aを併用することにより、さらに倍率を上げることが可能です。
- ボディに直接レンズを逆向きに取り付けた場合、
 - 1) ズームレンズを除いてピントの合う位置は一定になります。ヘリコイドによるピント合わせは行えませんので、カメラまたは被写体を前後に動かしてピントを合わせてください。なおこの時、フォーカシングユニットPG-2を併用すると便利です。
 - 2) 撮影倍率はズームレンズを除き一定になります。各レンズにより得られる倍率は下表をご参照ください。

BR-2Aによりボディに直接レンズを逆向きに取り付けた場合の撮影倍率(レンズ∞セット時)

レンズ名	撮影倍率
AFニッコール20mm F2.8S*	3.4X
AFニッコール24mm F2.8S	2.5X
AFニッコール28mm F2.8S	2.0X
AFニッコール35mm F2S	1.4X
AFニッコール50mm F1.4S	1/1.1X
AFニッコール50mm F1.8S	1/1.4X
AFマイクロニッコール55mm F2.8S**	1.2X
AFマイクロニッコール60mm F2.8S*	1/1.2X
AFニッコール85mm F1.8S*	1/2.8X
AFズームニッコール24-50mm F3.3-4.5S*	3.0-1.0X
AFズームニッコール28-70mm F3.5-4.5S	2.2-1/5.6X
AFズームニッコール28-85mm F3.5-4.5S	3.0-1/27.5X
AFズームニッコール35-70mm F2.8S*	2.3-1/1.9X
AFズームニッコール35-70mm F3.3-4.5S	2.1-1/6.1X
AFズームニッコール35-105mm F3.5-4.5S	1.8-1/6.1X
AFズームニッコール35-135mm F3.5-4.5S	2.2-1/31.7X
AFズームニッコール70-210mm F4-5.6S*	1/1.6-1/∞X
AFズームニッコール75-300mm F4.5-5.6S*	1/1.2-1/∞X
ニッコール20mm F2.8S*	3.4X
ニッコール24mm F2S	2.6X
ニッコール24mm F2.8S	2.5X
ニッコール28mm F2S	2.2X
ニッコール28mm F2.8S	2.1X

レンズ名	撮影倍率
ニッコール35mm F1.4S	1.8X
ニッコール35mm F2S	1.6X
ニッコール35mm F2.8S	1.5X
PCニッコール35mm F2.8	1.6X
ニッコール50mm F1.2S	1.1X
ニッコール50mm F1.4S	1/1.1X
ニッコール50mm F1.8S	1/2X
マイクロニッコール55mm F2.8S	1/1.1X
ノクトニッコール58mm F1.2S	1/1.2X
ズームニッコール28-85mm F3.5-4.5S*	2.9-1/35.8X
ズームニッコール35-70mm F3.3-4.5S	2.1-1/6.1X
ズームニッコール35-105mm F3.5-4.5S	1.8-1/6X
ズームニッコール35-135mm F3.5-4.5S*	2.2-1/14.9X
ズームニッコール35-200mm F3.5-4.5S*	2.2-1/∞X***

* BR-5を併用

** AFマイクロ55mmF2.8レンズを逆向きで使用する場合、レンズを繰り出した状態でレンズの絞りリング側に横方向の強い力が加わりやすいため故障の原因となりますので、十分ご注意ください。

*** 1/∞X付近では描写性能が劣下します。